



# 学校だより

令和8年1月7日

1月号

学校教育目標  
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校

## ことばでつながる新しい一年

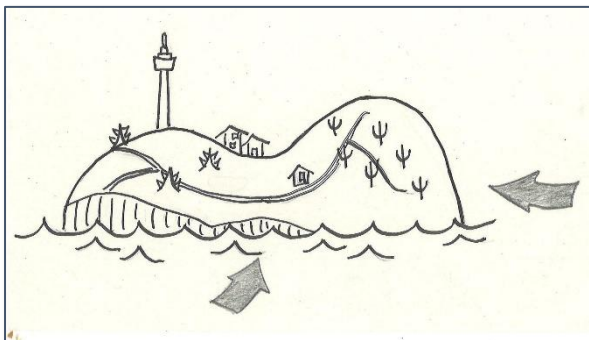
校長 望月 重晴

新しい年を迎え、子どもたちの元気な声が校舎に響き渡ることを心から嬉しく思います。澄んだ冬空の下、子どもたちは新しい目標に向かって一步を踏み出しています。今年の干支は午。駆ける馬のように、力強く、しなやかに前進する一年になることを願っています。

さて、日枝小学校では、12月4日から10日を人権週間としました。人権について関心を持ち、児童一人ひとりの自尊感情を高めることをねらいとして、道徳の学習を通して、人権の大切さを考えたり、「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を活用し、自分を大切に、友達とのかかわりを考えたりする取組を行いました。

また、冬休み前の朝会では、日枝っ子が行っている「なかま」の活動を例に、友達や地域みなさんとのかかわりを通して仲間のつながりを広げてほしいこと、そのためには、自分が話している「ことば」を大切に人とのつながりを深めてほしいことを話しました。

「ことば」のやり取りは、相手を喜ばせ、うれしい気持ちにさせることでつながりを深めます。しかし、使い方によっては、相手を傷つけてしまうこともあります。ぜひ、人と人とのつながりがよくなる「ことば」の使い方を大切にしたいと思います。



この「ひょうたんの形をした島」は、同じ島を見ていても、見る方向によって二つの山の島に見えたり、大きな一つの山の島に見えたりします。自分が「当然」「当たり前」と思っている、見方を変えれば、相手にとって違うように映ったり感じたりすることも多いものです。

相手を受け止めず、自分の見方や考え方で接すれば、それは「理解できないもの」「異なるもの」として終わってしまいます。相手を受け止めようとするれば、「新しい発見や気づき」になることもあります。

大人でも「互いの違いを認め、尊重する」ことを、どんなときにもできるようにするのは難しいことです。学校では、様々な経験をした人や考えをもった人たちが集まって学習や生活をしています。人権週間の取組を通して、子どもたちが多様なかかわりを通してお互いを認め合うよさを感じ、自分の見方や考え方が広がり、心豊かに成長してほしいと願っています。

本年も、子どもたちの笑顔と学びを支えるため、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。どうぞよろしくお願いたします。